

静岡県立焼津水産高等学校 沿革

- 大正 11. 3. 10 : 文部大臣より静岡県志太郡焼津町立焼津水産学校（乙種）設立許可。漁労科、製造科を置く
- 大正 11. 11. 11 : 開校式挙行（鉄筋二階建校舎落成）
- 大正 14. 4. 1 : 静岡県に移管、甲種に昇格し静岡県立焼津水産学校と改称、修業。年限3年とし、養殖科を増設
- 大正 15. 6. 9 : 中校舎木造二階建竣工
- 昭和 2. 6. 16 : 練習船 東海丸（67.61 吨）進水
- 昭和 5. 5. 31 : 養魚実習池竣工
- 昭和 8. 2. 11 : 校旗制定
- 昭和 9. 8. 18 : 講堂竣工
- 昭和 10. 4. 1 : 従来の修業年限3年生及び専修科を廃止し、修業年限5ヶ年とする
- 昭和 10. 10. 30 : 校歌制定
- 昭和 11. 8. 5 : 練習船 新東海丸（54.94 吨）進水
- 昭和 18. 4. 1 : 中学令公布せられ制度改正の結果、本年度より修学年限4ヶ年とする
- 昭和 22. 4. 1 : 学制の改革により併設中学校設置
- 昭和 23. 4. 1 : 学制の改革により静岡県立焼津水産高等学校と改称
- 昭和 23. 9. 1 : 定時制課程設置許可
- 昭和 25. 10. 11 : 実習船 富士丸（191.44 吨）進水
- 昭和 27. 4. 1 : 漁業専攻科を設置、修業年限を2ヶ年となる
- 昭和 29. 4. 1 : 全日制課程に機関科を増設
- 昭和 29. 7. 20 : 実習船 大富士丸（472.46 吨）進水
- 昭和 31. 3. 30 : 機関実習船、南校舎の増改築工事落成、135馬力機関据付
- 昭和 32. 4. 1 : 機関専攻科を設置し、修業年限2ヶ年となる
- 昭和 33. 4. 1 : 別科（電気通信科）を置き、修業年限2ヶ年となる
- 昭和 36. 3. 25 : 製造実習室（476平方メートル）竣工
- 昭和 36. 3. 31 : 別科（電気通信科）を廃止
- 昭和 36. 4. 11 : 全日制課程に無線通信科を増設
- 昭和 37. 9. 14 : 実習船 富士丸（330.93 吨）進水
- 昭和 39. 3. 25 : 本館改築工事（四階建、一部五階建1,161平方メートル）竣工
- 昭和 40. 3. 31 : 実習船 大富士丸廃船
- 昭和 41. 3. 10 : 寄宿舍（六星寮）竣工
- 昭和 41. 4. 1 : 定時制課程の募集停止
- 昭和 41. 9. 6 : 体育館兼講堂及び寄宿舍落成
- 昭和 41. 12. 2 : 無線従事者国家試験（3級）予備試験、英語の試験免除校に指定
- 昭和 43. 3. 25 : 第2製造実習工場竣工
- 昭和 43. 6. 29 : 実習船「やいづ」I世（248.40 吨）竣工
- 昭和 44. 3. 5 : 養魚実習池改造工事竣工
- 昭和 48. 3. 20 : 新館改築工事（鉄筋五階建3,550平方メートル）竣工

昭和 48. 3. 29 : 甲種二等航海士第一種養成施設として指定  
昭和 48. 7. 31 : 実習指導船「富士丸」(491.54 吨) 竣工  
昭和 49. 3. 20 : 生徒昇降口及び大会議室(鉄筋2階建603平方メートル) 竣工  
昭和 49. 12. 14 : 甲種二等航海士第一種養成施設として指定  
昭和 50. 3. 28 : 南本館(鉄筋四階建2,374平方メートル) 竣工  
昭和 51. 3. 25 : 南本館(鉄筋三階建1,281平方メートル) 増築工事竣工  
昭和 51. 11. 13 : 新校舎落成記念式挙行  
昭和 52. 2. 21 : 内燃機関甲種二等機関士第一種養成施設として指定される  
昭和 52. 3. 31 : 運動場夜間照明施設設置  
昭和 52. 8. 31 : 運動場拡張(2555.21平方メートル)  
昭和 53. 7. 26 : 実習船「やいづ」Ⅱ世(432.65 吨) 竣工  
昭和 55. 3. 25 : 柔剣道場竣工  
昭和 57. 11. 11 : 創立60周年記念式挙行  
昭和 57. 11. 25 : 第3製造実習工場竣工  
昭和 59. 3. 1 : 三級海技士(航海)、内燃機関三級海技士(機関)、五級海技士  
(航海)、内燃機関五級海技士(機関)、第一種養成施設及び免  
許講習機関として指定  
昭和 62. 3. 31 : 臨海実習場及びプール竣工  
昭和 62. 4. 1 : 学科改編により海洋漁業科(海洋漁業コース、海洋機関コース、電子  
情報コース)、栽培漁業科、水産製造科、流通経営科の4科となる  
平成 2. 4. 1 : 専攻科課程の漁業科を海洋漁業科にあらためる  
平成 3. 3. 14 : 実習船「やいづ」Ⅲ世(416 吨) 竣工  
平成 3. 3. 20 : 第一製造実習工場竣工  
平成 3. 11. 11 : 創立70周年記念式挙行  
平成 5. 3. 15 : 部室竣工  
平成 6. 3. 31 : 機関・製造実習棟竣工  
平成 6. 4. 1 : 海洋漁業科(海洋漁業コース、海洋機関コース、電子情報コース)を海洋漁業科(マ  
スターコース、マリンコース、エンジニアコース、電子情報コース)とし平成6年  
6/7付けでマスターコースに五級海技士航海及び五級海技士内燃機関、マリンコ  
ースに五級海技士航海、エンジニアコースに五級海技士内燃機関の免許講習機関の  
指定を受ける  
平成 7. 1. 17 付 : 海洋科マスターコースに五級海技士航海及び五級海技士内燃機関、マリン技術海技  
科マリンコースに五級海技士航海、マリン技術科エンジニアコースに五級海技士内  
燃機関の免許講習機関の指定を受ける  
平成 7. 2. 27 : 小型実習船「リサーチ」(19 吨、14.9m) 竣工  
平成 7. 3. 24 : 海洋漁業科(マスターコース、電子情報コース)、栽培漁業科、水産製造科、流通  
経営科、マリン技術科(マリンコース、エンジニアコース)となる  
海洋科マスターコースに五級海技士航海及び五級海技士内燃機関、マリン技術  
平成 8. 3. 25 : マリン技術実習棟竣工

平成 9. 11. 20: 寄宿舍耐震補強工事完了

平成 13. 4. 1 : 学科改編により、航海工学科（航海コース、機関コース）、栽培漁業科、食品科学科、流通情報科、マリン開発科となる

平成 13. 4. 20 付: 航海工学科に、平成 14 年 9 /19 付けでマリン開発科に一級小型船舶操縦士第一種養成施設の指定を受ける

平成 14. 3. 11 付: 航海工学科航海コースに五級海技士（航海）、機関コースに内燃機関五級海技士（機関）の第一種養成施設及び免許講習機関の指定を受ける

平成 18. 4. 1 : 学科改編により、海洋科学科（航海コース、機関コース、開発コース）、栽培漁業科、食品科学科、流通情報科の 4 科となる

平成 18. 5. 9 : 文部科学省から「目指せスペシャリスト」の研究指定を受ける

平成 21. 3. 6 : 実習船「やいづ」IV世（599 吨）進水

平成 21. 4. 1 : 「地域産業の担い手育成プロジェクト」（文部科学省・水産庁共同事業）の推進地域の指定を受ける

平成 21. 6. 23 : 実習船「やいづ」IV世（599 吨）竣工

平成 24. 11. 10 : 90 周年記念式典開催

平成 25. 4. 9 : 県立藤枝特別支援学校焼津分校（併設）開校

平成 26. 4. 1 : 海洋科学科 2 クラスとなり、4 学科 5 クラスとなる

平成 26. 1 : 「食の 6 次産業化プロデューサー」育成プログラム受講開始

平成 26. 4 : 海洋科学科が 2 クラスとなり、4 学科 5 クラスとなる

平成 26. 4. 7 : 文部科学省「スーパー プロフェッショナル ハイスクール」指定校となる

令和 3. 3 : 小型実習船「水高丸」竣工

令和 3. 7 : 教室にエアコン設置、海洋工学センターにドラフター 15 台設置

令和 3. 8 : 新校舎建設のため、生徒昇降口、大会議室取り壊し

令和 3. 11 : 海洋工学センターに万能試験機設置

令和 4. 3 : 航海用シミュレーター装置設置

令和 4. 8. 30 : 後援会バス納車